

## 22-4 東北大学金属材料研究所材料分析コア利用申請および利用料に関する申合せ

制定 平成26年6月17日

改正 平成28年10月20日

材料分析研究コアの利用申請は、利用目的に応じて次に定める方法で行う。材料分析研究コアの利用料は、利用形態に応じて次に定める基準に基づいて算出する。

### 1. 分析法および利用の対象となる設備等

#### (1) 元素分析

1) ICP発光分光法等（ICP発光分光法、ICP質量分析法、原子吸光法、吸光光度法、重量・容量法、イオンクロマト法）

2) ガス分析法（炭素、硫黄、酸素、窒素、水素）

3) 元素分析試料処理

4) 技術支援

#### (2) 蛍光X線分析

1) 蛍光X線分析法

2) 技術支援

#### (3) 電子顕微鏡

1) 200 kV 分析透過電子顕微鏡 TOPCON EM-002B

2) 200 kV 透過電子顕微鏡 JEOL JEM-2000EX II

3) 200 kV 収差補正型透過電子顕微鏡 JEOL JEM-ARM200F

4) 電顕試料作製

a) イオンミリング加工装置 FISCHIONE MODEL 1010

b) イオンスライサ加工装置 JEOL EM-09100 IS

c) 試料作製準備室の使用

5) 電顕技術支援（「東北大学金属材料研究所材料分析研究コア分析電顕室設備等使用内規」第5条第2項に関わる支援、前処理済みでない試料を持ち込んだ電顕試料作製を含む）

### 2. 利用の申請

#### (1) 元素分析

1) 元素分析の利用者に対しては、利用年度ごとに、別紙様式1に定める「金属材料研究所材料分析コア元素分析依頼申請・許可書」を、支払いに用いる財源ごとに提出するよう求める。

2) 元素分析の利用申込は、分析依頼ごとに、別紙様式2に定める2枚1組となった「分析依頼伝票」および「分析結果報告書」を、試料とともに提出する。

#### (2) 電子顕微鏡

1) 分析電顕室の利用者に対しては、利用年度ごとに、別紙様式3に定める「金属材料研究所材料分析コア分析電顕室設備等使用申請・許可書」を、支払いに用いる財源ごとに提出するよう求める。

### 3. 利用料の算出方法

(1) 元素分析(蛍光X線分析法を除く)

- 1) 「国立大学法人東北大学物品の貸付料算出基準」(平成19年6月29日財務部長裁定)に基づき、1成分(元素分析試料処理は1試料)当たりの単価を算定する。
- 2) 依頼された試料ごとの成分数を乗じ、利用料とする。ただし元素分析試料処理には、試料溶液調製、難分解試料対応、分離操作を含む。
- 3) 技術支援を受けた利用者には、前項に加え、技術支援料を加算する。

(2) 蛍光X線分析法

- 1) 「国立大学法人東北大学物品の貸付料算出基準」(平成19年6月29日財務部長裁定)に基づき、1時間当たりの単価を算定する。
- 2) 使用時間数を乗じた額を利用料とする。
- 3) 技術支援を受けた利用者には、前項に加え、技術支援料を加算する。

(3) 電子顕微鏡(装置使用、試料作製、電顕技術支援を含む)

- 1) 「国立大学法人東北大学物品の貸付料算出基準」(平成19年6月29日財務部長裁定)に基づき、1時間当たりの単価を算定する。
- 2) 使用時間数を乗じた額を利用料とする。
- 3) 電顕技術支援を受けた利用者には、前項に加え、技術支援料を加算する。

#### 4. 負担経費

利用料の負担経費は以下のとおりとする。

- ・ 運営費交付金
- ・ 寄附金
- ・ 間接経費
- ・ 科学研究費助成金
- ・ 受託研究費
- ・ 共同研究費
- ・ 受託事業費
- ・ 預り補助金等

#### 5. 補足

利用料は、光熱水費、保守点検等経費、消耗品費の変動を鑑み、必要に応じて見直しを行う。

## 6. 料金表

平成 28 年 10 月 1 日現在

## (1) 元素分析(蛍光X線分析法を除く)

分析方法	料金
1) ICP 発光分光分析等 <sup>*)</sup>	1,600 円 × 成分数
2) ガス分析法	2,200 円 × 成分数
3) 元素分析試料処理	3,000 円 × 試料数 一部消耗品は実費
4) 技術支援料	3,000 円/時間 「東北大学金属材料研究所材料分析研究コア元素分析利用内規」第7条に関わる支援

<sup>\*)</sup> ICP 質量分析法、原子吸光法、吸光光度法、重量・容量法、イオンクロマト法を含む

## (2) 蛍光X線分析

分析方法	料金
1) 蛍光X線分析法	500 円 × 利用時間 <sup>**)</sup>
2) 技術支援料	3,000 円/時間 「東北大学金属材料研究所材料分析研究コア元素分析利用内規」第7条に関わる支援

<sup>\*\*)</sup> 装置立ち上げ時間 (1 時間) を含む

## (3) 電子顕微鏡

装置等	料金 (時間単位)	備考
1) 200 kV 分析透過電子顕微鏡 TOPCON EM-002B	1,500 円	
2) 200 kV 透過電子顕微鏡 JEOL JEM-2000EX II	1,000 円	フィルム代 400 円/枚
3) 200kV 収差補正型透過電子顕微鏡 JEOL JEM-ARM200F	3,000 円	
4) イオンミリング加工装置 FISCHIONE MODEL 1010	300 円	前処理済み試料持込の場合
5) イオンスライサ加工装置 JEOL EM-09100 IS	1,500 円	前処理済み試料持込の場合
6) 試料作製準備室	125 円	低速カッター、平行研磨機、回転湿式研磨機、バフ、ホットプレート、ディンブラー、光学顕微鏡等 (半日 (4h) 単位で使用)

7) 試料作製消耗品	無料	研磨紙、補強用メッシュ、接着剤、研磨砥粒等 一部消耗品は実費
8) 技術支援料	3,000 円	「東北大学金属材料研究所材料分析研究コア分析電顕室設備等使用内規」第 5 条第 2 項に関わる支援

※ 上記の料金に消費税および地方消費税相当額を加算した額を使用料金とする。(本学貸付基準による。)